



# INDEX

- 1 町長あいさつ
- 3 50年のあゆみ 
- 11 **特集** 50周年×50エピソード
- 17 [重点施策] 子育て
- 19 [重点施策] 医療・福祉
- 21 [重点施策] 交通・住環境
- 23 Go to TOGO ~文化・施設・名所~
- 25 町内マップ
- 27 イベントカレンダー
- 29 町の概要・統計比較

令和2年4月、東郷町は町制施行50周年を迎えました。  
昭和45年、石川正己初代東郷町長(名誉町民)のもと11、510人でスタートした私たちの町は、50年の歩みの中で44、000人の皆様が暮らす町へと成長してまいりました。

この記念すべき年を皆様とともに祝い、未来への想いを馳せるための行事・イベントを数多く企画しておりますが、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため開催することができなかったことは残念でなりません。

そのような中でも、東郷町50年の歩みを皆様の心の中に留め置きつけになればと、この記念誌を発行することといたしました。

東郷町は名古屋市と豊田市の中間点に位置し、通勤通学に便利であり、緑あふれる環境という恵まれた住環境から都市化が進み、現在でも都市近郊の住みよい住宅地として発展し続けています。

そして、令和2年9月には町の中心域に「らぽーと愛知東郷」がオープンし、町内外の皆様注目される町へと新たな歩みを始めています。

令和3年4月には「らぽーと愛知東郷」に近接するバスターミナルが運営を開始いたします。従来の町巡回バスに加え、藤田医科大学病院までの直通便も加わります。

また、三井不動産が運行する自動運転シャトルバス(バスターミナル⇄地下鉄徳重駅間ピストン)とあわせ、交通の利便性は一層高まります。

また、ICTの急速な発達に対応すべく令和元年より東郷町役場内では電子マネー「LINE Pay」の利用をスタート、RPA(ロボティックプロセスオートメーション:ロボットによる仕事支援)を県下でも先進的に導入するなどの実績を評価いただき、経済産業省のキャッシュレス等先進自治体モニターとして全国1700余の自治体の中から選定いただいております。

グローバル展開として、春木台小学校では令和2年度よりインターネットアプリケーション「Skype」を活用し、オーストラリアの小学校と英語の授業を合同で行う交流授業をスタートいたしました。令和3年度にはインターネットを駆使してオーストラリアなどの小中学校と交流授業を順次展開していきます。

町立保育園では、全ての保育園に外国人の先生が順に配置されます。子どもたちに保育を通して英語に親しむ機会を提供するとともに、肌の色や目の色の違いを排除の対象とするのではなく当たり前に受け入れることができる、多様性を認めあい受け入れあう子どもに成長していけるような環境づくりを進めてまいります。

保育園、小中学校の給食では町内農産物や有機野菜の積極的導入全ての子どもたちが一緒に給食を食べることができるよう一人一人のアレルギー食材をチェックし排除した「にこにこ給食」を導入するなど、子どもたちの笑顔のために大きく舵を切っています。

人の心を癒やしてくれる緑あふれる田畑の環境を守るとともに、その美しい田畑から収穫される食材を給食としていただく、そのような綺麗なサイクルをこれからも守っていかねければなりません。

東郷町は令和2年、町制施行50周年を迎えました。そして次の50年への第一歩を歩み始めました。先人の想いを、そして未来への希望を胸に、明日に向かって、この歩みを進めてまいります。

東郷町長 井俣憲治

## バーチャル観光 東郷町名所ツアー



360°のパノラマ写真で、東郷町内の名所をバーチャル体験できます。誌面に掲載されているQRコードを、スマートフォンやタブレットで読み取りアクセスしてみましょう。東郷の魅力が発見できますよ。



バーチャル観光